

平成27年
7月30日

夏休み子どものつどい・in 赤間々！

●今年の夏は、総勢20人の小学生が赤間々会館に集いました。武田先生のゲームで、楽しく体を動かしたあとに、人権についてお話を聞いて、なかよくすることの必要性について学びました。その後は、みんなでカレーライスを食べて、花火大会を楽しみました。子どもたちは、楽しい体験と友だちとの交流を元気いっぱいに楽しみました。



「日光学・わがまちきらり発見隊」

自分の生活する地域のよさを知り、そのよさを生かしながら、地域をよりよくする活動を実施する講座です。今年度は、藤原地域・栗山地域で実施しています。

(平成26年度：日光地域・足尾地域、平成28年度実施予定：今市地域)

第1回 基調講演会（平成27年6月14日（日）実施 藤原総合文化会館）

演題「チャレンジから始まる自分づくり・絆づくり！」

講師 スキージャンパー 葛西紀明 氏

受講者の声

- 目標をもって努力すること。自分にはなかなかできないので感動しました。人と人のつながりの大切さを改めて感じました。
- 今後も年齢に関係なく選手として進む決意と努力について伺い、自分も同じように取り組んで行きたいと思いました。
- 40年ほど前に旅立ってしまった主人へのみやげ話ができました。ありがとうございました。私自身、残り少ない人生を大切に、そして一日一日を感謝しつつ生きようと痛感しました。

※受講者数 280名



第2回～「地域を知り、地域をよりよくしよう。」（現地学習・活動づくり）

《藤原地域班》

「鬼怒川温泉街」を調査。
鬼怒川児童館の子ども達と、
そのよさを発信する資料を作成する予定です。



《栗山地域班》

栗山地域の民話と食文化について学習。
湯西川小中学校の子ども達と地域のよさを発信していく予定です。



※ 今年度は合計9回の講座を予定し、平成28年2月7日（日）実施予定の「日光学まつり」で活動報告します。

★おやこでアイデア！食育かんたんレシピを大募集

【応募条件】①日光市在住、在勤、在学の方（親子で！グループで！の応募も可）

②高価な食材は使用しないこと（誰もが手に入る食材を使用）

③応募作品はひとり4点まで（同じ部門、各部門それぞれの応募も可）

【募集部門】①主食部門（ごはん・パン・めん類）②主菜部門（肉・魚・卵・豆製品）

③副菜部門（野菜・きのこ・芋・海藻）④おやつ部門（食事でとりきれない食材）

【応募期間】平成27年9月25日（金）～平成27年11月27日（金）

【応募方法】2人分のレシピ（材料・分量・作り方）に料理の写真を1枚添付して、郵送又は直接生涯学習課窓口まで持参いただけ方法でご応募下さい。（住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入）

【宛先】〒321-1292 日光市今市本町1番地 生涯学習課 食育かんたんレシピ係

【その他】平成28年度食育かんたんレシピカードに採用いたします。



たくさんのご応募
お待ちしております!!

★子育てあるある川柳募集

【テーマ】子育て・家族・家庭に関する心温まる川柳

【募集基準】年齢制限無し。作品は未発表の自作のもので1人3点まで。

【応募締切】平成27年12月25日（金）

【応募方法】①郵送 ②電子メール ③ファックスのいずれか。

（作品（ふりがな）・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号を記入）

【宛先】①郵送 〒321-1292 日光市今市本町1番地 生涯学習課 子育てあるある川柳係

②電子メール shougai-gakushuu@city.nikko.lg.jp

③ファックス 0288-21-5185

【その他】入選作品は平成28年2月7日（日）実施予定の「日光学まつり」にて掲示するほか、家庭教育リーフレット、生涯学習情報紙等に掲載。



日光あーとさんぽ

野外彫刻探検＆美術館で日本画体験ツアー
8月8日（土）・8月22日（土）

8月8日（土）に小学1年生から60代の方まで15名が参加して、日光美術展「日光あーとさんぽ」を実施しました。

午前中は、まずJR今市駅前の彫刻8点を、手で触りながらじっくりと鑑賞した後、杉並木公園へバスで移動し、公園の東側から彫刻を探しながらの散歩を行ないました。「野外の彫刻はみんなに手で触ってもらつたほうが良いんだよ」と聞くと、ガイドよりも先に彫刻を見つけて触ってみたり、羊の彫刻やオオクワガタの彫刻には跨ったり直接触れて鑑賞しました。また、高麗（たかお）神社では、普段気づくことが少ないものの、身近な神社などにも古い立派な彫刻があることを学びました。

午後は小杉放菴記念日光美術館へバスで移動し、学芸員の説明を聞きながら、まず「竹内栖鳳展」を鑑賞しました。その後で、日本画の材料を使って、地元の栃木県産の材木片に日光東照宮の「眠り猫」や自分の好きなキャラクターなどの図案で色を付けていく体験をしました。実際ににかわを煮ながら、岩絵の具を手で溶き、筆を使って木片に色を付けていくなかでは、にかわをなめてみたり、にかわの匂いは「くさいね」と顔をしかめる子もいましたが、それぞれ立派な作品を仕上げることができました。

